

子どもへの虐待をなくすために 繋ぎ続ける

大正大学 社会福祉学科2年



1. 大正大学社会福祉学科のオレンジリボン運動の歩み
2. 2020年度の私たちの活動について
3. 「いちはやく 繋ぎましょう」(オリジナル漫画)



1. 大正大学社会福祉学科のオレンジリボン運動の歩み

- ・大正大学社会福祉学科ではソーシャルワーク演習Ⅲを受講する学生がオレンジリボン運動の活動を行っている。
- ・2013年度から**8年間**継続して実施！
- ・大学からの全面協力、大正大学社会福祉学会からの支援、区民ひろば、他大学、他学科、出身校、先生方など多くのご協力のもと、今年度の活動を行うことができた。



2. 2020年度の私たちの活動について

(1) 継続活動

① オレンジリボン作り、配布

感染防止のため
アクリル板をはさみ
作業！



区民ひろばに
配布



②オリジナルポスターの作成

児童虐待の種類

- ・身体的虐待
- ・性的虐待
- ・ネグレクト
- ・心理的虐待

イチハヤク

189

をわかりやすく

11月は児童虐待防止推進月間です

オレンジリボン運動とは

子ども虐待防止のシンボルマークとしてオレンジリボンを広めることで、子ども虐待をなくすことを呼びかける市民運動のことです。

児童虐待とは

厚生労働省「児童虐待の定義」によると、児童虐待は以下のように4種類に分類されます。

身体的虐待	性的虐待	ネグレクト	心理的虐待
殴る、蹴る、叩く、投げ落とす、激しく揺さぶる、やけどを負わせる、溺れさせる など	子どもへの性的行為、性的行為を見せる、性器を触る又は触らせる、ポルノグラフィの被写体にする など	家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にする、自動車の中に放置する など	言葉による脅し、無視、きょうだい間での差別的扱い、子どもの前で家族に対して暴力をふるう(DV) など

児童虐待事件

2020年7月、茨城県ひたちなか市で、生後1か月の女児が虐待により死亡しました。女児をドアにたたきつけるなどの暴行を加え死亡させたとして、28歳の父親が殺人の疑いで逮捕されました。

日本では、このような

痛ましい事件が後を絶ちません。

児童虐待相談対応件数

児童虐待相談対応件数は、年々増加傾向にあります。

1990年度： 1,101件
1995年度： 2,722件
2000年度： 17,725件
2005年度： 34,472件
2010年度： 56,384件
2015年度： 103,286件
2019年度： 193,780件

出典：厚生労働省「令和元年度 児童相談所での児童虐待相談対応件数（速報値）」

<https://www.mhlw.go.jp/content/000696156.pdf>

虐待かも？と思ったら

児童相談所
虐待対応ダイヤル



イチハヤク
189

あなたの行動が
子どもたちの命を救います

- ・匿名で構いません。
- ・お近くの児童相談所につながります。
- ・通告・相談をした人、その内容に関する秘密は守られます。
- ・通話料は無料です。



←大正大学社会福祉学科
公式マスコットキャラクター
『ぷくまる』

大正大学人間学部社会福祉学科オレンジリボン運動推進隊

オレンジリボン運動について

児童相談所
相談対応件数
統計開始以来

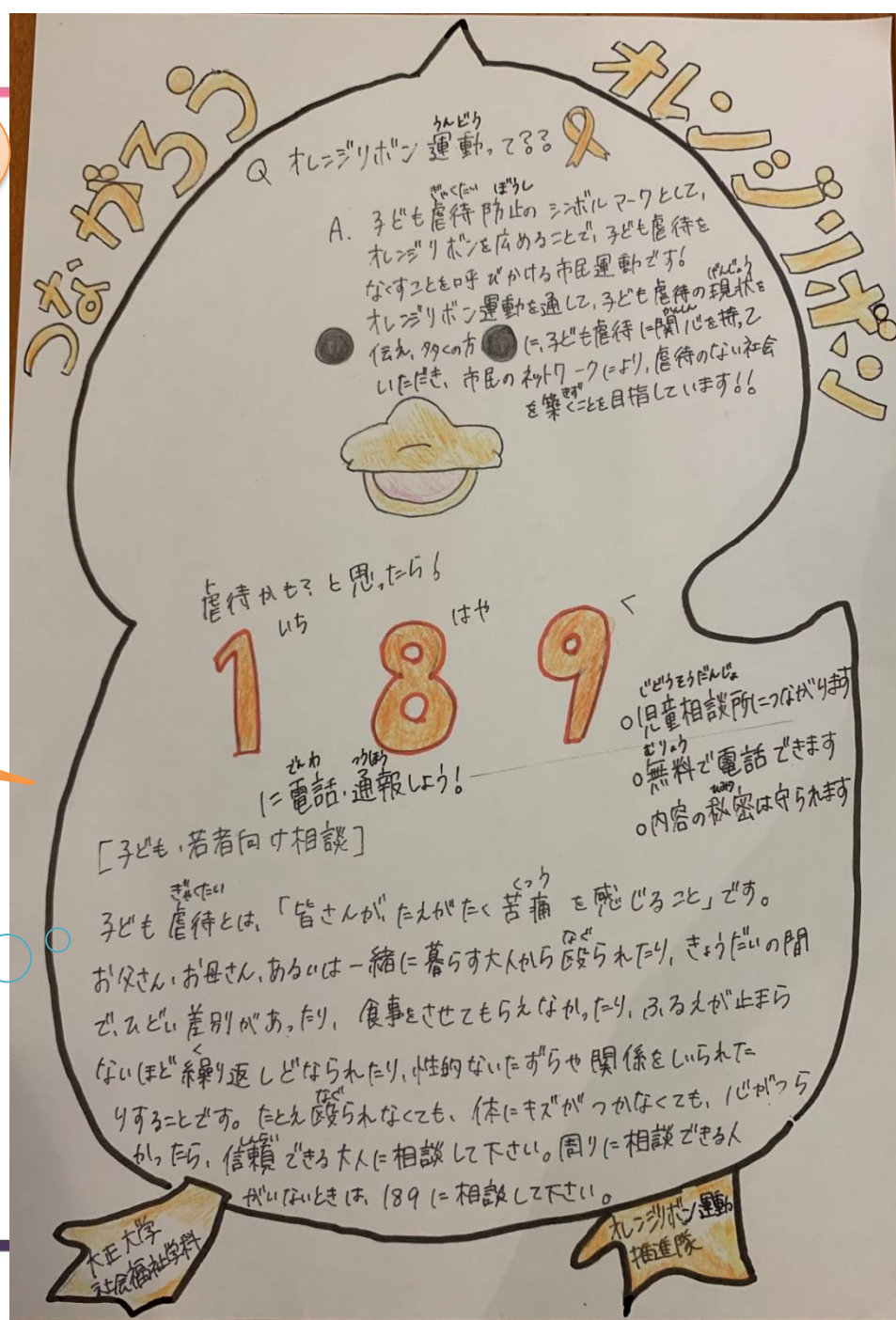
29年連続で増加
約176倍

オレンジリボンを持つ
大正大学社会福祉学科
公式マスコットキャラクター
『ぷくまる』

子ども向けポスター

漢字にふりがなを振り、
子どもでも読めるよう工夫

大正大学公式
マスコットキャラクター
『T-Duck』に
願いを込めて





大正大学
7号館7階
社会福祉学科の掲示板

大正大学
正門の掲示板

他にも
学生課の掲示板や
4号館・10号館の掲示板、
図書館、区民ひろばに
掲示！



(2) 新規活動

- ①オリジナルパンフレットの作成
- ②出身校にポスター、パンフレット、オレンジリボンの送付（全12校、そのうち1校には**550**部のパンフレットと**600**個のオレンジリボンを配布）
- ③1年生への講義
- ④アンケート調査（ソーシャルワーク演習Ⅲの受講者、1年生）
- ⑤図書館のブース作り
- ⑥Twitterの開設
- ⑦「いちはやく 繋ぎましょう」（オリジナル漫画）の作成



①オリジナルパンフレットの作成

子ども向けパンフレット

漢字にはふりがな

まも こ 未来
守ろう 子どもの未来
あれ、ぎやくたい虐待かな？おもと思ったら

イチハヤク
☎ 1 8 9

じ どう そう だん じ ょ ぎ ゃ く た い た い お う
(児童相談所虐待対応ダイヤル)
で ん わ
までお電話を

す ○お住まいのち い き地域のじ どう そう だん じ ょ児童相談所につながります。

れ ん ら く と く め い お こ な ○連絡は匿名で行うことも可能です。

れ ん ら く し ゃ れ ん ら く な い よ う か ん ひ み つ ま も ○連絡者や連絡内容に関する秘密は守られます。

オレンジリボン運動推進隊



たいしょうだいがくしゃかいふくしがつか
大正大学社会福祉学科

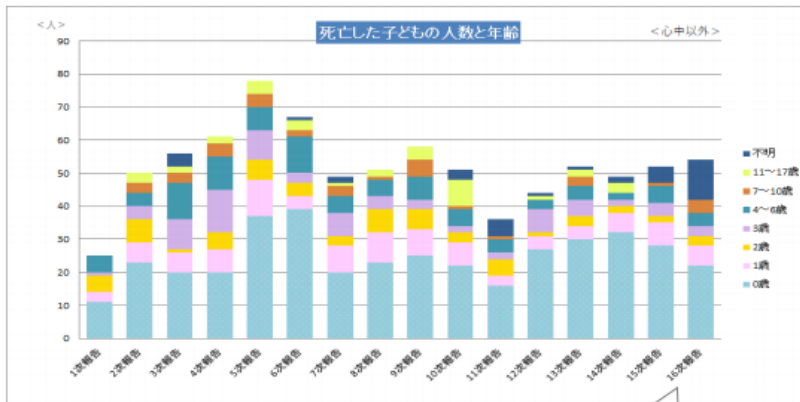


子どもとその保護者に児童虐待の知識を身につけてもらえるように工夫

ひろ うんどう
広めよう、オレンジリボン運動



オレンジリボン運動は、「子ども虐待のない社会の実現」を目指す市民運動です。みなさんに子ども虐待について少しでも知ってもらい、虐待をなくすことを呼びかけています。



(注:NPO 法人児童虐待防止全国ネットワーク 子ども虐待防止オレンジリボン運動
<http://www.orangeribbon.jp/about/child/data.php>)

虐待による死亡事例は、平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月末までで、64 件発生しました。死亡した子どもの年齢は、0 歳が 40.7%と乳児・未就学児の割合が高いです。

死亡事例の主な加害者は、実母 46.3% 実父 16.7%
主な虐待の類型は、ネグレクト 46.3% 身体的虐待 42.6%

(注:厚生労働省「子ども虐待による死亡事例等の検証結果等について(第 16 次報告)」)
<https://www.mhlw.go.jp/content/11900000/000533867.pdf>

虐待とは「みなさんが、たえがたく、苦痛を感じること」です。

お父さん、お母さん、あるいは、一緒にくらす大人から、殴られたり、きょうだいの間でひどい差別があったり、ごはんを食べさせてもらえなかったり、ふるえが止まらないほど繰り返し怒鳴られたり、性的ないたずらや関係をしいられたりすることです。

たとえ殴られなくても、体にキズがつかなくても、心がつかったら、それは虐待になります。

みなさんにこのような経験があったり、お友だちが虐待を受けていると思ったら、信じていることができる大人に相談してみてください。周りに信じていることができる大人がいないときや、どうしたらよいかわからないときは、下の電話番号に相談してください。みなさんのひみつは守ります。

児童相談所虐待対応ダイヤル=189(イチハヤク)

子どもたちの明るい未来を、私たちでつくっていきませんか？

私たち大正大学社会福祉学科はオレンジリボン運動の推進に努めています



②出身校にポスター、パンフレット、オレンジリボンを送付

小学校の先生方からの温かいお言葉

大人ではなく子どもたちに歳が近い大学生がこの
ような活動をすることに意味があると感じました。

卒業生がこんな形で活躍しているということを知れ
て嬉しかった、これからも応援しています。

機会があれば、来年も協力したいです。

☆オレンジリボンを小学生と先生方の分、
600個送付！



③1年生への講義

【講義内容】

- ・オレンジリボン運動について
- ・大正大学社会福祉学科のオレンジリボン運動の歩みについて
- ・児童虐待の現状
- ・私たちの活動紹介

次年度の活動を
イメージしてもらうこと
に繋がった

【感想】

- ・先輩たちの漫画がとてもわかりやすかった。漫画にすることで、具体的な状況が見え、色んな人に知ってもらうためにも表現方法を工夫することは、とても重要であると感じた。
- ・出身校にポスターを配布することで、知る機会が少ない人達にも児童虐待について関心をもってもらうことに繋がり、大切な取り組みであると思ったと同時に「きっかけ作り」として力を持つと感じた。



④アンケート調査

【ソーシャルワーク演習Ⅲ受講生】

- ・活動を通じて、自分の強みや力を活かしたか。
- ・また、得られた自分らしい学習効果について
- ・コロナ禍で難しかったこと
- ・Twitterのフォロワーを増やす方法
- ・Twitterでの啓発活動について
- ・児童虐待に対する考え方の変化について
- ・次年度に向けての改善点

【1年生】

- ・オレンジリボン運動を知っていたか
- ・講義を聴き、児童虐待問題に関心を持ったか
- ・Twitterを利用しているか
- ・Twitterでの啓発活動について
- ・次年度の活動について

Twitterを
利用した
啓発活動の
必要性

児童虐待に
関する意識の
変化

今後の児童
虐待防止活動
に対する意識
の向上に貢献

⑤図書館のブース作り

児童虐待に関連する 書籍を設置



⑤図書館のブース作り

紹介文を添えた オリジナルPOP



『ルポ 消えた子どもたち』

～虐待・監禁の深層に迫る～

NHK出版社

NHKスペシャル「消えた子どもたち」取材班著

虐待、貧困、保護者の精神疾患等によって監禁や路上・車上生活を余儀なくされ社会から“消えた”子どもたち。独自アンケートと追跡取材によって、“消えた”子どもの実態に迫り、子どもたちの命を守るために何が必要か考える。

児童虐待の悲劇を繰り返さないために、自分に何ができるのか深く考えることができるおすすめの一冊です。

ぜひ一度手に取ってみてください。



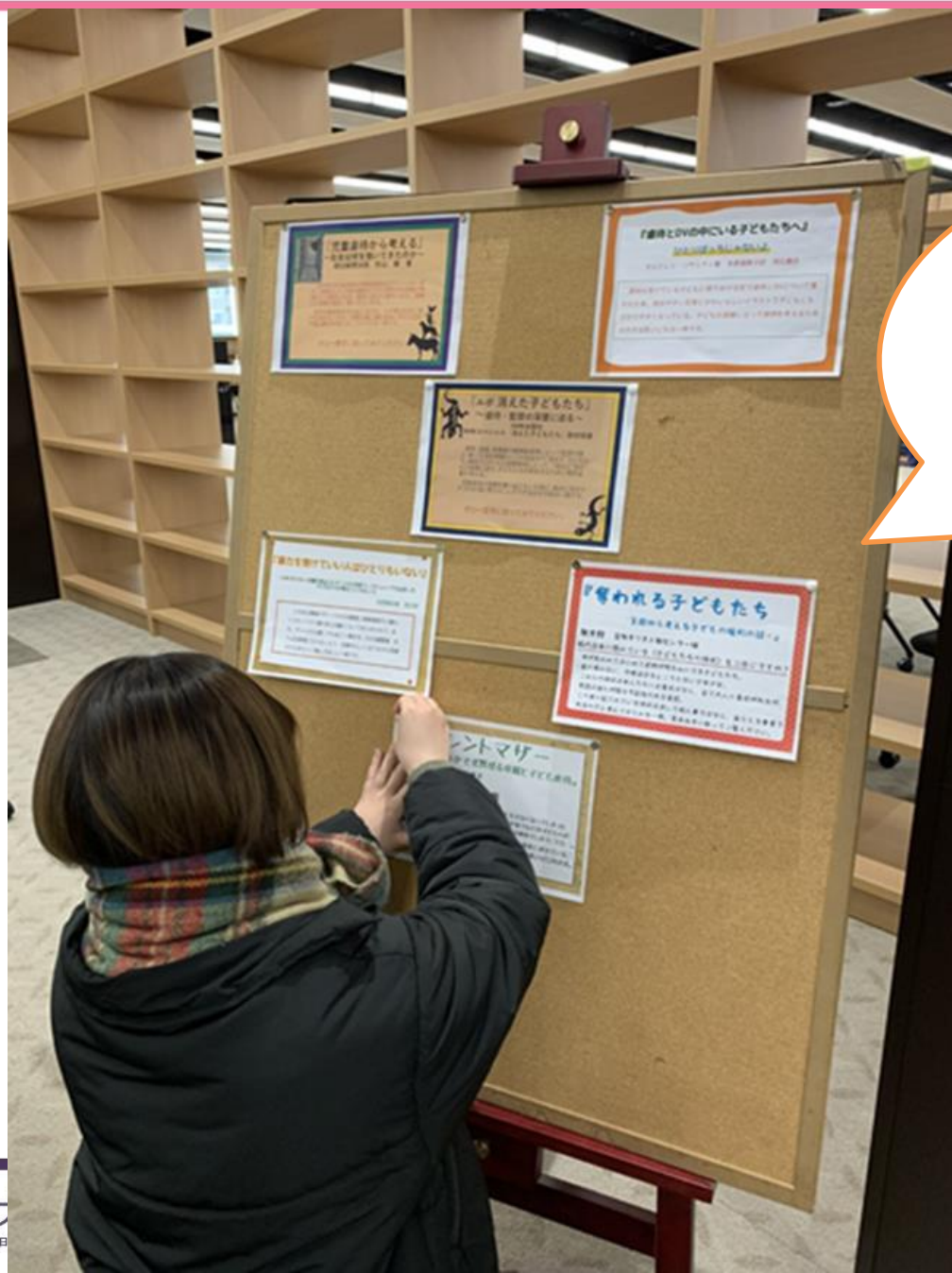
『児童虐待から考える』 ～社会は何を強いてきたのか～ 朝日新聞出版 杉山 春 著

2014年5月30日神奈川県厚木市内のアパートの一室で、白骨化した子供の遺体がゴミに埋もれた部屋の布団の上で発見された。現実起きた事件である。困窮した家族が営む、救いのない生活。

何が児童虐待を引き起こすのか、なぜ親は社会に助けを求めないのか、行動の裏に潜む社会に対する恐れや強迫観念を感じることができる一冊です。

ぜひ一度手に取ってみてください。





オリジナルPOPを
書籍の隣に掲示し、
多くの方に興味を持っ
てもらえるよう工夫



図書館のブース

多くの方に観ていただける場所に
オリジナル漫画も掲示



⑥Twitterの開設

フォロワー数

75人

(2021年2月27日現在)

@Orange_Taisho

オレンジリボン運動推進隊・大正大学

- ・目白大学
 - ・和光大学
 - ・横浜保育福祉専門学校
 - ・かわぐちオレンジリボンネットワーク
- 相互フォロー

「オレンジリボン運動推進隊・大正大学」というアカウント名にわたしたちの意気込みが込められている。



2-1 得られた学び、成果

- ①情報を整理する力
- ②わかりやすく伝える力
- ③状況変化に対処する力・計画立案力・実践力
- ④1年生のオレンジリボン運動認知率



①情報を整理する力

オリジナルポスター、パンフレットの作成

- ・オレンジリボン運動の公式サイトから、オレンジリボン運動の定義や活動の起源、活動の方法や種類、内容を調べた。
- ・厚生労働省のデータ、書籍やさまざまなインターネット上の資料から、児童虐待の種類や現状について情報を入手するとともに、現在行われている児童虐待防止の対策について学んだ。
- ・正しく伝えるために、あらゆる情報の整理を行った。



②わかりやすく伝える力

- ・オリジナルポスター、パンフレットの作成
- ・書籍の紹介文

小学生や大学生、地域の方々など読む人、見る人に応じて、伝えたい内容をわかりやすく表現できるよう工夫。

1年生への講義

「オレンジリボン運動」を具体的にイメージし、活動内容やその意義や児童虐待の現状、ソーシャルアクション等々について一年生たちに理解してもらうように丁寧に伝えた。



③状況変化に対処する力・計画立案力・実践力

すべての活動を通じて

コロナ禍という例年とは異なる環境のなかで、広報班、ポスターやパンフレットの作成を行う班、TwitterなどSNSでの啓発を行う班に分かれ、それぞれの班内で役割分担を行い、オンラインで情報や進捗状況を確認しながら活動を行った。



④1年生のオレンジリボン運動認知率

1年生を対象としたアンケートの結果
約6割の1年生がオレンジリボン運動を認知していた

理由

大正大学の学園祭やオープンキャンパス
に参加した経験がある など



大正大学社会福祉学科が8年間にわたり
活動を行ってきた成果と言える



【1年生への講義】

「オレンジリボン運動」について、活動の様子を撮影した写真やオリジナル漫画を用いてより
関心をもってもらえるように工夫。



啓発活動を知ってもらうこと、
児童虐待について自分で調べること、
自分にできることを考えてもらうこと
など

次年度の啓発活動に活かしてもらうことに繋がった。



2-2 活動における意義

【図書館のブース作り】

多くの人に児童虐待に関する様々な書籍に関心をもってもらうため、わかりやすいオリジナル紹介文を作成。



- ・さまざまな書籍を紹介する・読むことでより多くの視点を
得ること
 - ・興味・関心を持ってもらうこと
 - ・児童虐待防止に対する意識の高まり
- ☆社会福祉の仕事に進む人が社会の問題に目を向け、
仕事の意義を発見するきっかけを増やすことに繋がった。



2-3 今後に向けて

継続していききたいこと

正しい知識を
共有すること

大学や地域と
連携した活動

Twitterを利用した
情報発信

- ・区民ひろばだけでなく巣鴨商店街などにも
ポスター掲示やパンフレット配布をする
- ・リツイートが増えるように文章を工夫する



新たにやっていきたいこと

今年度の取組みで得られた関係の維持、発展

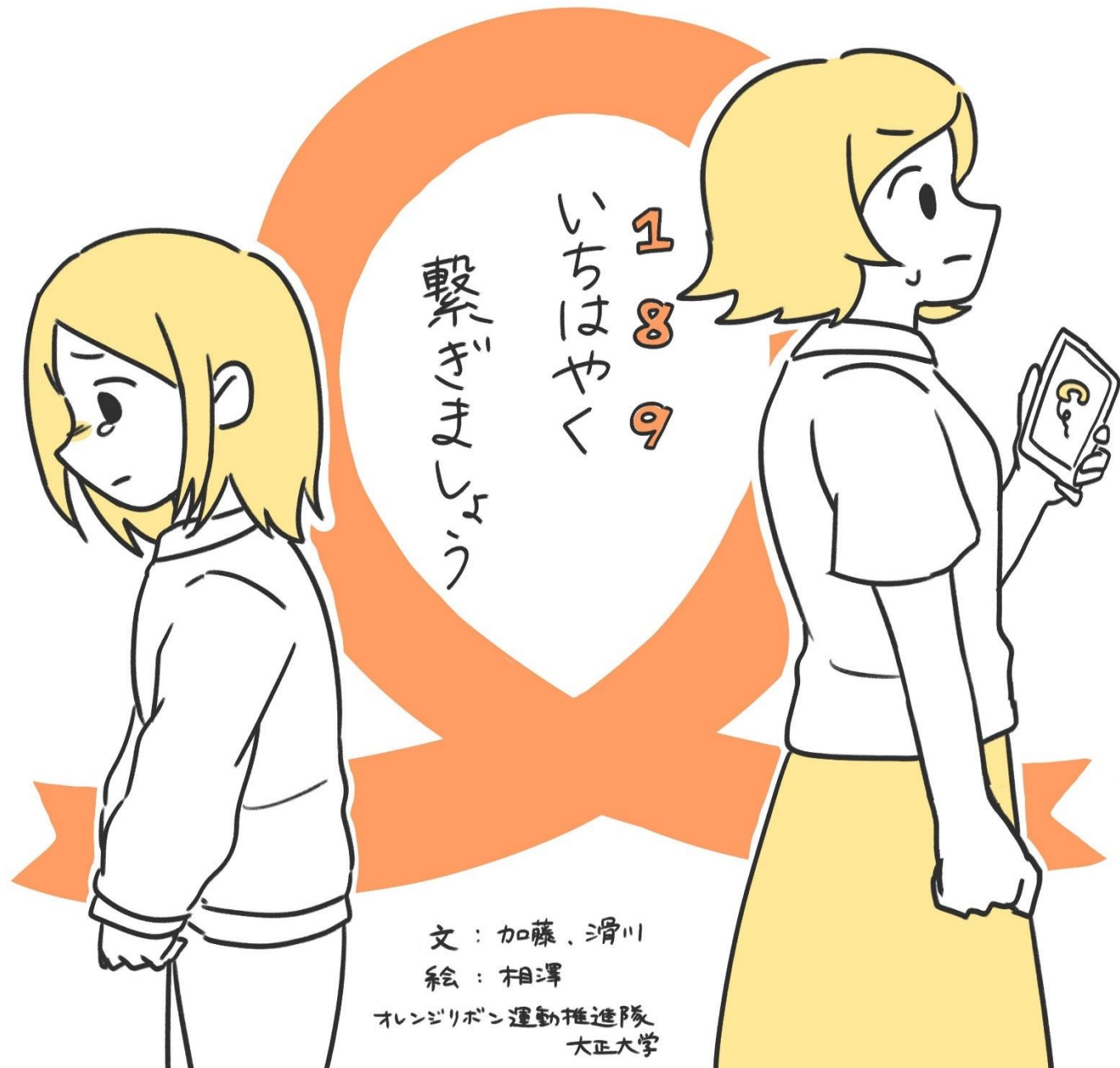
他大学、他学科
との
さらなる連携

小学生や中学生、
その先生方、保護者
の方に対する対面
又はオンライン講義

Instagramなど
Twitter以外のSNSを
利用した活動

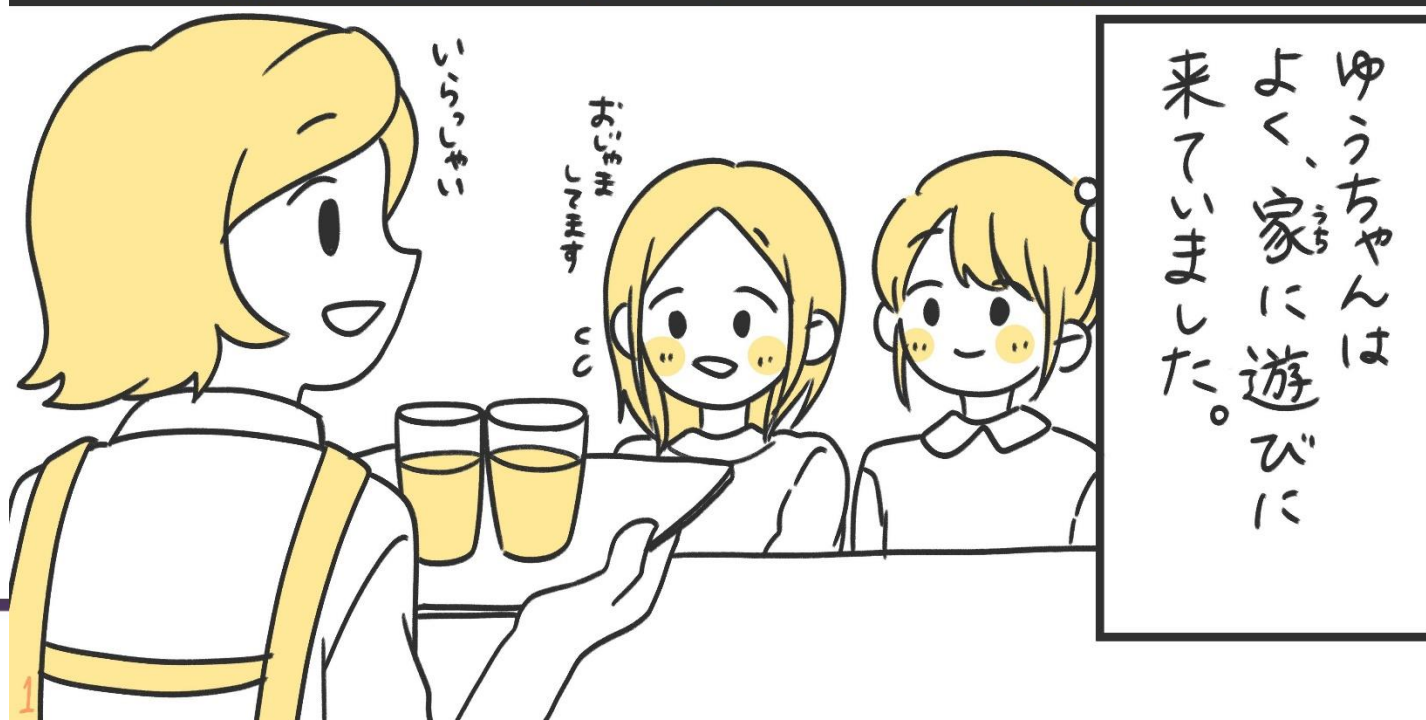
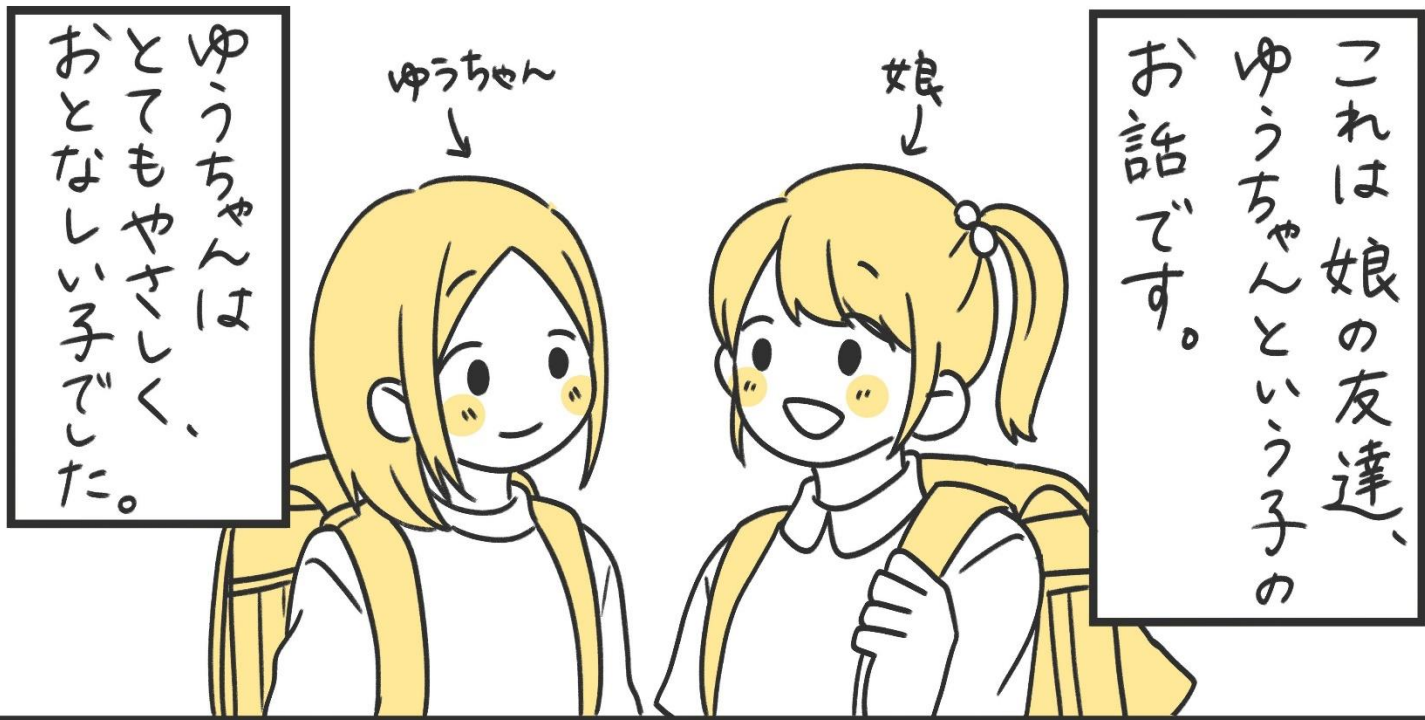


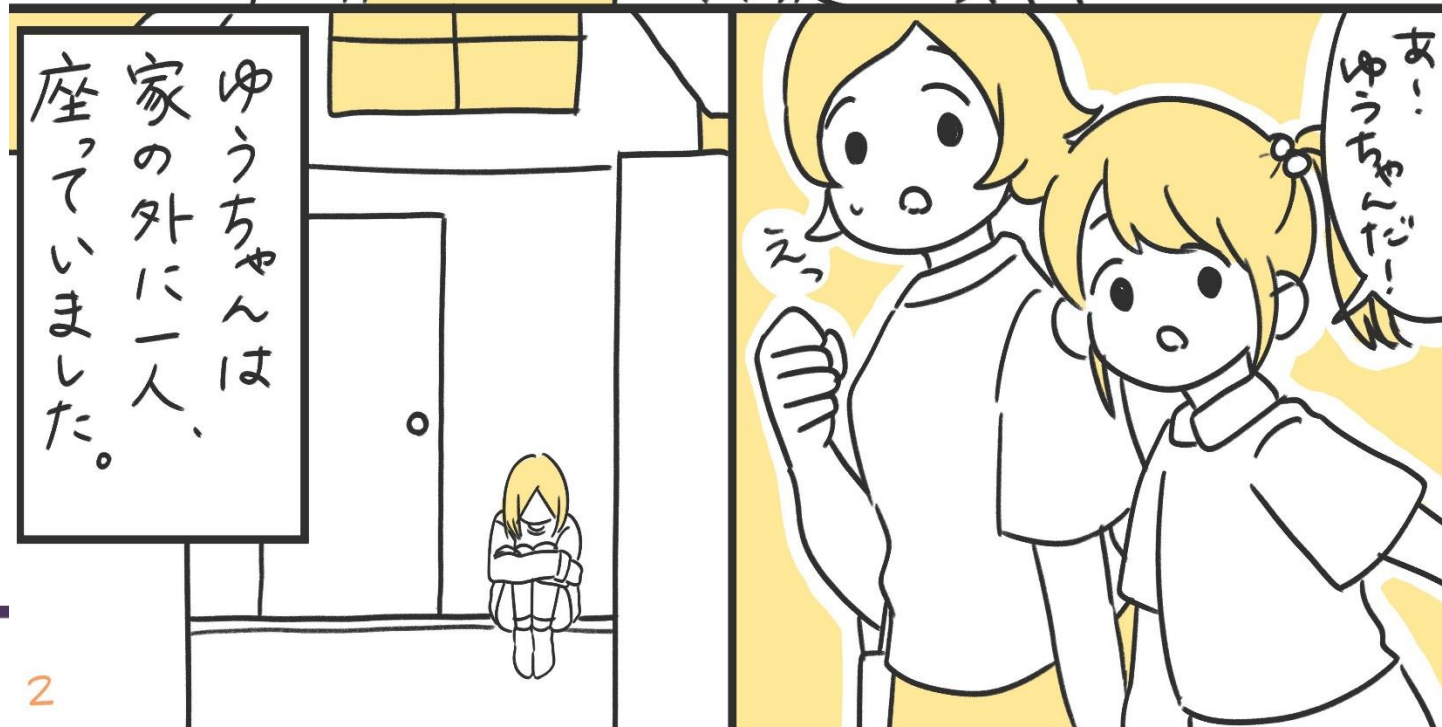
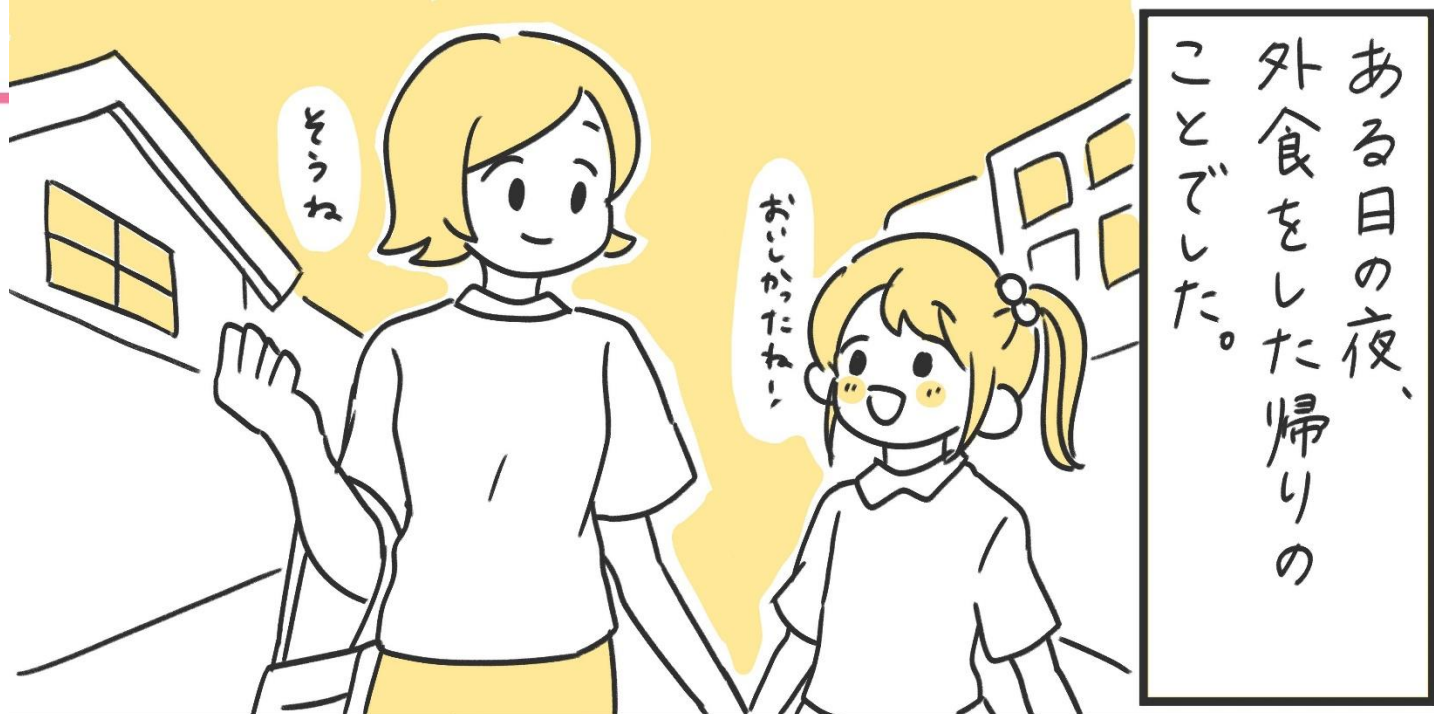
3. 「いちはやく繋ぎましょう」(オリジナル漫画)



文：加藤、滑川
絵：相澤
オレンジリボン運動推進隊
大正大学





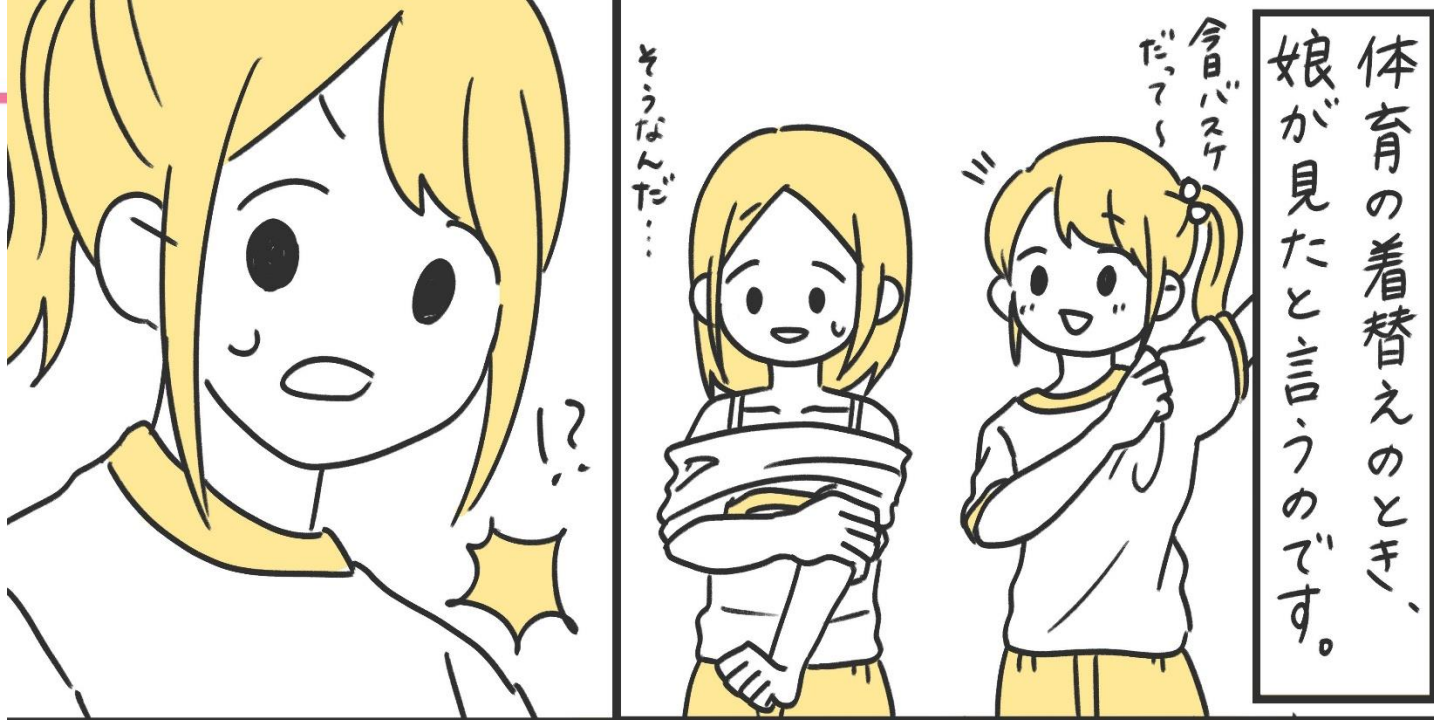


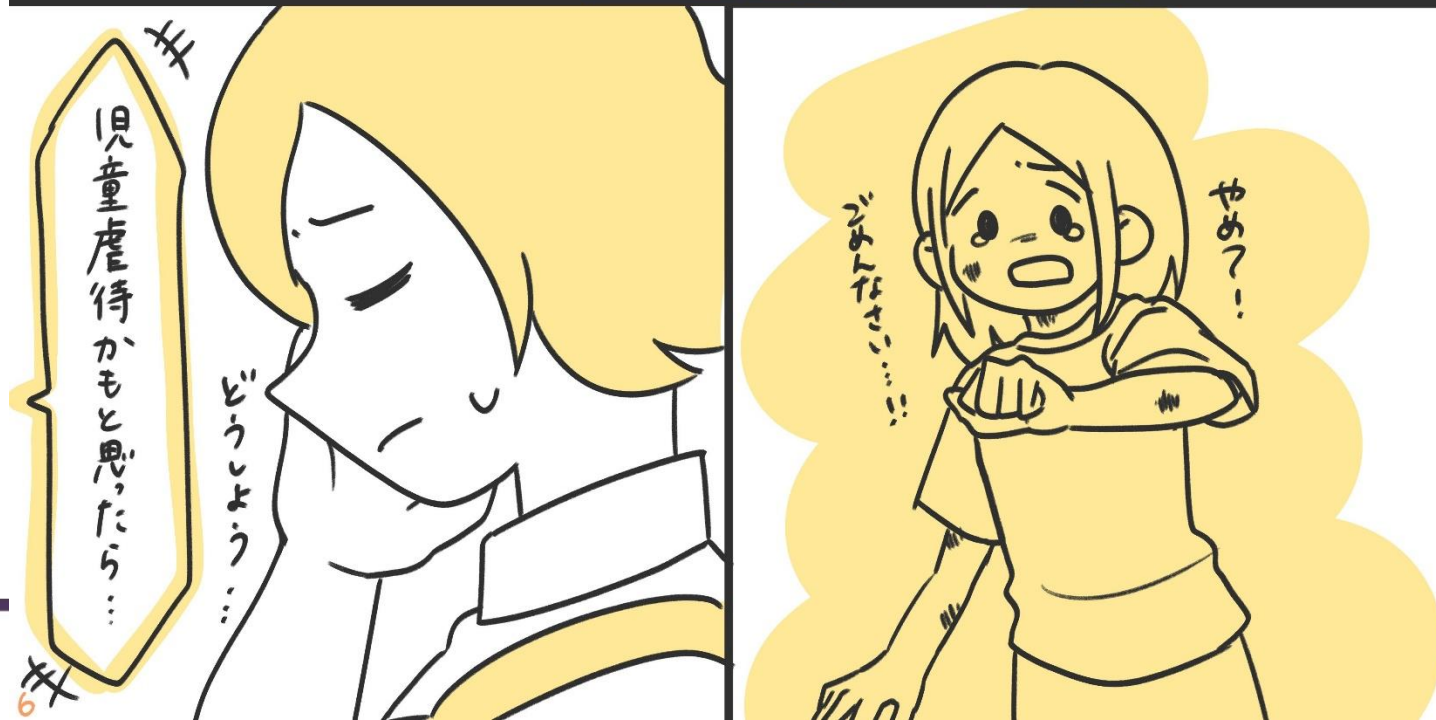




数日後。
娘が暗い顔をして
帰ってきたため、
学校で何かあったのかと
思っていたとき、
娘の口から信じ難い
ことを聞かされたのです。







あなたの気付きは
子どもの希望



子どもは虐待されていることを
訴えることはできません

児童虐待のテレビCMを
観た直後、いちはやく
電話をかけました。迷いは
ありませんでしたが、もしものとき
のために勇気を出しました。



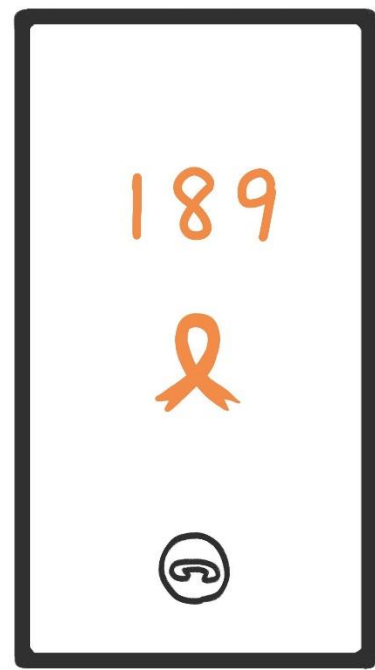
いちはやく
189は

児童相談所

虐待専用ダイヤルで

ここにかけると近くの

児童相談所へつながります。



虐待かも...
と思ったとき

すぐに通告・相談できます

全国共通番号だから

覚えやすい!!

あなたの
せいね!!

電話しなきゃよかった...

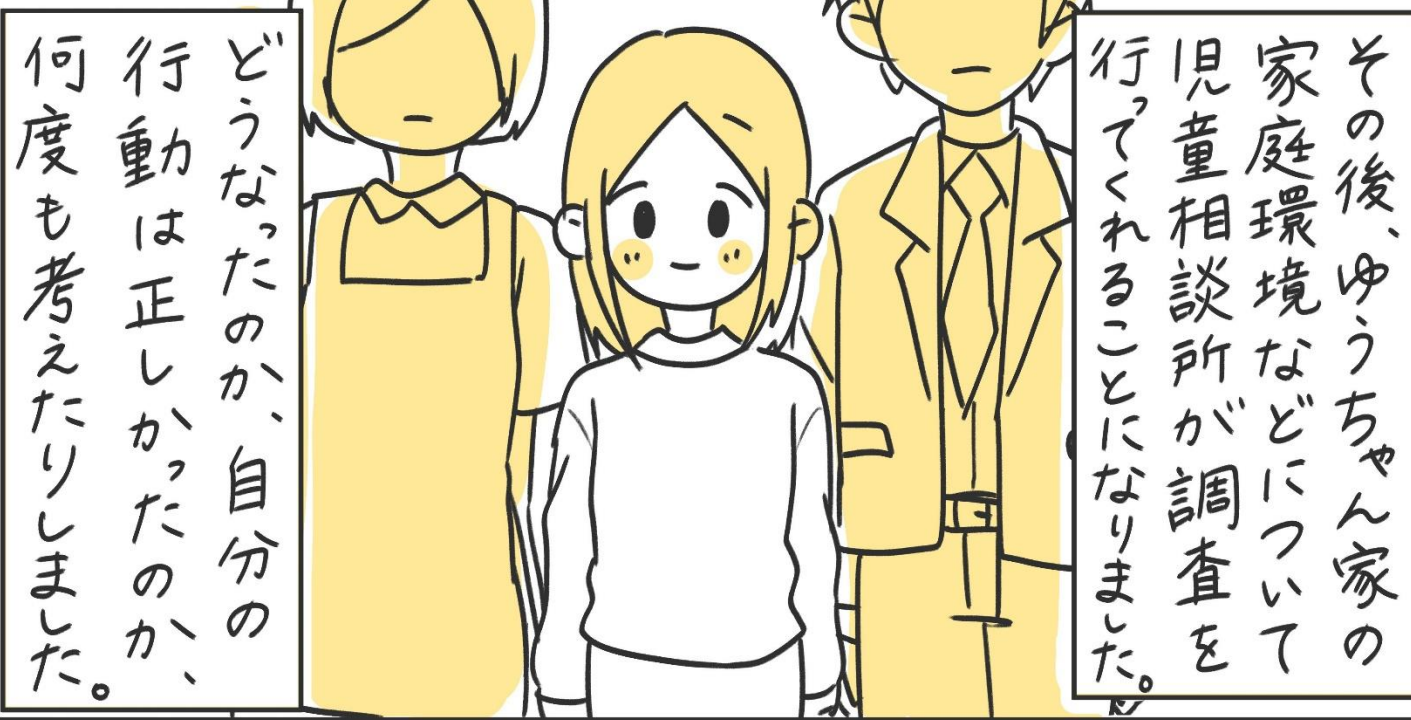
このようなことはありません!!!

通告・相談は匿名で
行くこともでき、

通告・相談に関する

秘密は守られます





ゆうちゃんのように
虐待に苦しむ子どもが
あなたの近くに
いるかもしれません。



虐待は暴力といった
身体的虐待、
暴言や無視などによる
心理的虐待、
ネグレクト（放任放棄）、
性的虐待もあります。

オレンジリボンには
「子ども虐待を防止する」
というメッセージが込められて
います。



オレンジリボン運動で
子ども虐待のない社会を
一緒につくりましょう！

オレンジリボン運動推進隊・大正大学



ご清聴ありがとうございました。

大正大学社会福祉学科
公式マスコットキャラクター
『ぷくまる』



オレンジリボン運動推進隊・大正大学

39

